

変革の時代における法・法律学

受講生募集

2014年9月27日(土)より 全4回開講

社会が大きく変化していく中で、これまでの『法』と『法律学』もその根本的な部分において反省を迫られるに至っています。この講座では、慶應義塾大学法科大学院の専任教員が、最近の重要な法的争点を取り上げ、法理論と法実務の最先端の知見に基づき、いま『法』と『法律学』がおかれている状況についてわかりやすく解説します。最近の法的諸問題に関心をもつ皆さん、かつて学んだ法律学を再び勉強し直してみたいと思っている方々、企業や法律事務所などで実際に法に関わる仕事に携わっている方々などに本講座の受講をお勧めします。

会場：慶應大阪シティキャンパス
 日程・講師プロフィール 受講定員60名に達し次第、受付を終了させていただきますので予めご了承ください
 申込方法・受講料等は裏面をご確認ください

第1回 9月27日(土) 13:00~16:00



福井 琢 慶應義塾大学大学院法務研究科教授

1985年慶應義塾大学法学部卒業。1987年弁護士登録。現在、柏木総合法律事務所代表弁護士兼慶應義塾大学法科大学院教授。民事法総合、企業法務、経済法担当。大林組、神戸製鋼所などのコンプライアンス関係の外部委員を務め、現在、信越化学工業社外監査役、平和不動産リート投資法人監督役員その他。著書（共著）として、『銀行員のための独占禁止法早わかり』（銀行研修社）、「新独占禁止法の法律相談」（青林書院）など。

株式会社における統治機構とコンプライアンス体制 ——その不朽性と今日的課題

株式会社の取締役は、会社に対して善管注意義務、忠実義務を負っています。また、わが国の株式会社における統治の仕組みは、時代によって変わっており、様々な議論を経て、今年の会社法の改正により新たな仕組みが設けられました。この講座では、株式会社の役員、とりわけ取締役の責任が問われた数多くの判例を取り上げ、また最近特に問題となってきた、日本企業が諸外国の法令違反に問われた事例を紹介しながら、株式会社における統治機構およびコンプライアンス体制について検証したいと思います。

第2回 10月4日(土) 14:00~17:00



西 希代子 慶應義塾大学大学院法務研究科准教授

東京大学法学部卒業・博士（法学・東京大学）。上智大学法学部専任講師、同准教授（法科大学院兼任）等を経て、現在、慶應義塾大学法科大学院准教授。家族法（法科大学院）および民法（法学部）担当。「遺留分制度の再検討（1）～（10・完）」（法学協会雑誌）により、第20回尾中郁夫学術奨励賞受賞。近年は、先端科学技術の利用によって生じる法的問題にも取り組んでいる。関連する著作として、『生殖補助医療と法』（共著、日本学術協力財団）等。

民法典の不朽性と賞味期限 ——明治148年＝昭和90年＝平成27年、日本の選択

現在、100年ぶりといわれる民法典の大改正作業が進んでいます。明治初期、不平等条約を撤廃して近代資本主義国家の仲間入りをするために作られた「比較法の果実」である民法典の中の、取引ルールを定める債権法改正がその柱です。他方で、昭和を通して維持されてきた相続法の基本的理念が、婚外子相続差別違憲判決を機とする相続法改正によって大きく変わろうとしています。さらに、数年前には、平成に入って深刻化した児童虐待問題に対応するために、短期間で親権法改正が実現しました。このように大変革期を迎えている民法の現在（いま）を概観し、時代を経てもなお堅持されるべき理念・原理と真に再検討が求められるものについて考えてみたいと思います。

第3回 11月29日(土) 14:00~17:00



駒村 圭吾 慶應義塾常任理事、慶應義塾大学法学部教授

1984年慶應義塾大学法学部卒業。1989年慶應義塾大学大学院法学研究科単位取得退学・2000年博士（法学）。白鷗大学法学部助教授、同教授、慶應義塾大学法学部助教授等を経て、現在、同法学部教授、同法科大学院教授。専攻は憲法・言論法・人権基礎論。特定の論点をほりさげるのではなく、解決済みと思われる憲法上の論点を現代危機の観点から広く再検証している。著作に、『権力分立の諸相』（南窓社）、「ジャーナリズムの法理」（嵯峨野書院）等。

憲法典の不朽性と賞味期限 ——安倍改憲案と近代立憲主義

「憲法」に賞味期限はありません。しかし、それは賞味に値するものであり続けなければならないという最高法規の宿命を果たし得る限りにおいてです。私の講義では、以上のことを理解するために、安倍改憲草案のどこが憲法に致命傷を与えるのかを明らかにしたいと思います。争点は、前文、13条、97条の改正提案です。さらに、憲法改正手続先行改正論の問題と、そして、時間があれば、集団的自衛権行使容認のための7.1閣議決定が、ほんとうに安保法制の「歴史的転換」だったのかも検証します。

第4回 12月6日(土) 14:00~17:00



井田 良 慶應義塾大学大学院法務研究科教授

1978年慶應義塾大学法学部卒業。1989年法学博士（ケルン大学）。2009年名誉法学博士（ザールラント大学）。2012年名誉法学博士（エランゲン大学）。慶應義塾大学法学部助手、専任講師、助教授、教授を経て現在、同法科大学院教授。刑法担当。刑法学の全般にわたり関心をもって研究している。著書として、『基礎から学ぶ刑事法』（有斐閣）、「講義刑法学総論」（有斐閣）、「刑法各論」（弘文堂）、「入門刑法学総論・各論」（有斐閣）などがある。

法的視点からみた終末期医療 ——刑法による生命保護の不朽性と賞味期限

刑法の最も重要な任務は、個人の生命を守ることです。生命侵害の最たるものは殺人ですが、自殺が起こらないようにすることもまた刑法の重要な役割です。終末期医療の場面における生命保護は難しいテーマです。医師の取る措置が、患者の生命を短縮する限りにおいて、犯罪となりうる可能性が出てきます。線引きをすることで、その線のこちら側では合法的な医療行為ですが、その線を踏み越えれば殺人罪となります。その線をどこに・どう引くべきなのか。今回の講義では、この大きな問題を検討の対象としたいと思います。

慶應義塾法科大学院について (<http://www.ls.keio.ac.jp/>)

本講座の講師が教鞭をとる慶應義塾大学大学院法務研究科は、「国際性」「学際性」「先端性」を教育理念とし、21世紀の法曹界の先導者の養成を教育目標として2004年に誕生した法科大学院です。すでに、慶應義塾大学三田キャンパスにおいて、法律家のマインドとスキルを学んだ多くの修了生たちが、新時代をになう法曹として社会で活躍しはじめています。（同研究科の司法試験合格率は、全国の法科大学院中2011年度第4位（48.0%）、2012年度第3位（53.6%）、2013年度第1位（56.8%）でした。）

本講座の会場となる慶應大阪シティキャンパスは、福澤諭吉ゆかりの地である大阪に開設した、慶應義塾がセミナーや公開講座など情報発信や交流の場として展開をめざす施設です。

慶應大阪シティキャンパス

会場・お問合せ先

慶應大阪シティキャンパス (KOCC) 事務局

〒530-0011 大阪市北区大深町3-1

グランフロント大阪 ナレッジキャピタル 北館タワーC 10階

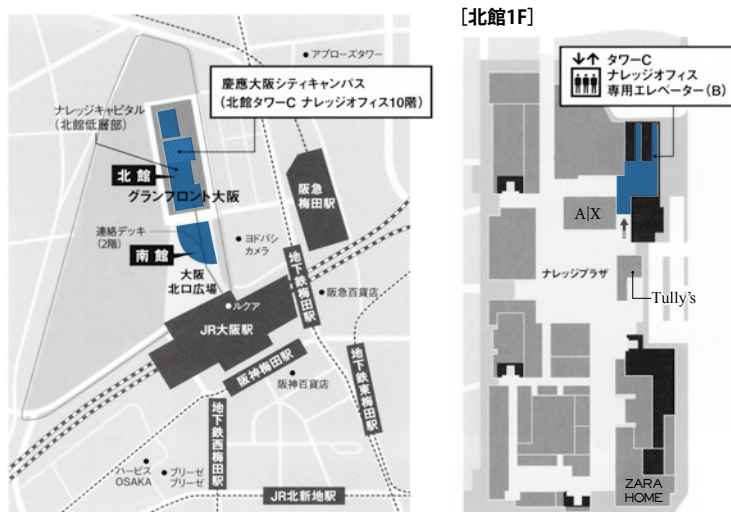
TEL: 06-6359-5547 (平日 9:30~17:30) FAX: 06-6359-5548

URL: <http://www.korc.keio.ac.jp/> E-Mail: keiokorc@info.keio.ac.jp

JR大阪駅、阪急梅田駅、阪神梅田駅、地下鉄梅田駅・西梅田駅・東梅田駅より徒歩。

北館タワーC1階のオフィスエントランスよりナレッジオフィス専用エレベーター(B)で10階へ。

※キャンパスには駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。



変革の時代における法・法律学

申込要領

① 申込み登録

FAX申込: 下記に必要事項をご記入の上お送りください
FAX 06-6359-5548

Web申込: 下記URLまで (7/25(金)11:00より受付開始)
http://www.korc.keio.ac.jp

お問合せ: 慶應大阪シティキャンパス事務局
06-6359-5547 (平日9:30~17:30)
 (KOCC事務局夏季休業期間: 8/9~8/17)

② 受講料請求書を受領

申込登録を事務局が確認後、事務局より請求書を郵送(またはE-Mail)にてお送りいたします。

③ 受講料の支払い

請求書に記載の指定期日までに指定口座へお振込みください。
 (振込手数料はご負担願います)
 ご入金は、必ず受講申込書に記載されたお申込者様の名義でお願いいたします。

④ 受講決定通知(受講券)を受領

事務局でご入金を確認後、「受講決定通知(受講券)」を郵送(またはE-Mail)にてお送りいたします。

⑤ 当日、講座を受講

必ず「受講決定通知(受講券)」をご持参ください。

- ◎受講には「六法」が必要となります。小型のもので結構ですので各自ご準備ください。
- ◎受講定員60名に達し次第、受付を終了させていただきますので予めご了承ください。
- ◎KOCC事務局夏季休業期間(8/9~8/17)中のFAXによる講座申込、電話によるお問合せ受付はしておりませんので、ご注意ください。

慶應大阪シティキャンパス『変革の時代における法・法律学』 受講申込書

年 月 日 申込

全4回一括申込み〈12,000円(税込み)〉				枚	合計金額				
各回申込み〈各3,500円(税込み)〉					円				
※一度のお申込枚数が2枚以上の場合は1枚につき500円割引します。									
第1回	9/27(土) 13:00~16:00	福井 琢	株式会社における統治機構と コンプライアンス体制	枚	第3回	11/29(土) 14:00~17:00	駒村圭吾	憲法典の不朽性と賞味期限	枚
第2回	10/4(土) 14:00~17:00	西希代子	民法典の不朽性と賞味期限	枚	第4回	12/6(土) 14:00~17:00	井田 良	法的視点からみた終末期医療	枚
フリガナ					会社・団体名				
申込者名 (個人・企業団体等)					所 属				
					役 職				
ご連絡先	〒 -								
	住 所				都 道 府 県				
	T E L ()				F A X ()				
	E-mail				今後、慶應義塾からの案内を ☐ 希望する ☐ 希望しない				

【個人情報の取扱いについて】お申し込みにあたり、お客様からいただいた氏名、住所等の個人情報は本講義の開催に関する諸連絡および慶應義塾からのご案内を送り送る目的でのみ使用し、原則として第三者に開示いたしません。なおご提供いただいた情報に関するお問い合わせはKOCC事務局までお願いいたします。